

## ChatGPTショッピング検索のサードパーティプロバイダーはShopifyだった!?

ChatGPT のショッピング検索では、商品情報が「サードパーティ」からも取得される。このサードパーティには Shopify(ショッピファイ)が含まれる。

[ChatGPT のショッピング検索](#)では、商品情報が「サードパーティ」からも取得されます。  
このサードパーティには Shopify(ショッピファイ)が含まれます。

### ChatGPT ショッピング検索に最適化するなら Shopify?

ChatGPT ショッピング検索がリリースされた時点では、サードパーティが具体的にはどこなのかは公開されていないとされていました。  
ドキュメントには明記されていなかったためです。

しかし実際には、別のドキュメント ([ChatGPT search の解説](#)) で言及されていました。

次の 2 つがショッピング検索のプロバイダーとして商品データを ChatGPT に提供しているようです。

- Bing
- Shopify

[ChatGPT search のインデックスデータ](#)は [Bing](#) に主に依存しているので Bing から商品データを取得するのは理にかなっています。

※すずき注:最新の調査では、[Bing から Google に移行したのではないかという分析](#)あり

[Shopify](#) は世界で最も利用されている EC プラットフォームの 1 つです。

Shopify で EC サイトを構築していれば、そこで販売している商品情報は自動的に ChatGPT ショッピング検索の対象になると解釈できそうです。

補足で、Bing に話を戻します。

Google の Merchant Center に相当するプロダクトとして、Bing には[Microsoft Merchant Center store](#) があります。  
ここから商品フィードを送信しておくのも効果的かもしれません(ChatGPT が今でも Bing を外部ソースとして利用しているなら)。

ChatGPT のショッピング検索の最適化として、Shopify と Microsoft Merchant Center store の利用は検討に値します。  
もっとも、プラットフォームを Shopify に移行するのはそうやすやすとは実行できないでしょうから、Shopify で EC サイト運用しているならラッキーですね。

## Google DiscoverがAIによる概要を生成

Google Discover が、複数サイトからの同トピックの記事をまとめた、AI による要約を提供するようになった。

Google Discover が、複数サイトからの同トピックの記事をまとめた、AI による要約を提供するようになりました。

### 複数サイトの記事から AI 要約を生成

こちらは、[9to5Google](#) が取得した Discover フィードのキャプチャです。

4 人の宇宙飛行士が写っている画像の記事に掲載されている概要は AI が生成したものです。

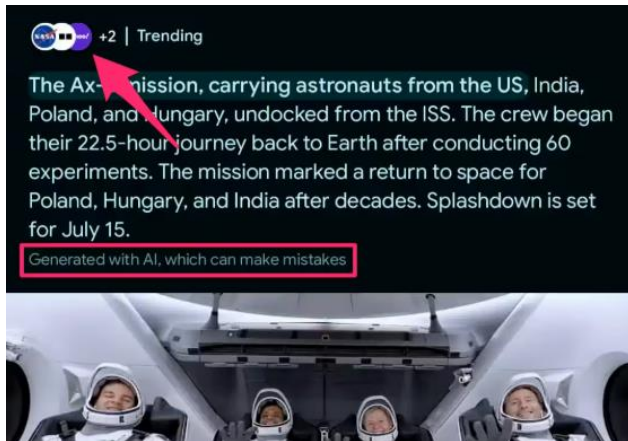


## Google DiscoverがAIによる概要を生成

Google Discover が、複数サイトからの同トピックの記事をまとめた、AI による要約を提供するようになった。

拡大します。

赤枠で囲ったところには “Generated with AI, which can make mistakes.” (AIによって生成されました。間違いが含まれている場合があります)と書かれています。



さらに、矢印の先にも注目してください。

この要約は、複数のサイト(ここでは 3 サイト)の記事をまとめた形で作られています。

民間有人宇宙飛行ミッション「Ax-4」のクルー 4 名が地球に無事に帰還したことを報じる記事です。

アイコンから判断すると、左から NASA、真ん中はおそらく BBC、右は Yahoo News です。

フィードに掲載されているサムネイル画像は先頭の NASA の記事から取得しています。

このカードをタップすると NASA の記事に飛びます。

アイコン部分をタップすると、残りの 2 記事も掲載されているフィードに移動するようです。

## Google DiscoverがAIによる概要を生成

Google Discover が、複数サイトからの同トピックの記事をまとめた、AI による要約を提供するようになった。

### 米国でリリース

この機能はテストではなく米国で正式にリリースされものであると Google の広報から [TechCrunch](#) がコメントを得ています。  
Android と iOS の Google アプリが対象です。

### CTR 減少の可能性

自動的に記事概要を生成してくれるのはユーザーには便利な機能に思えます。  
しかし、概要で満足してその記事に訪問しなくなる可能性も考えられます。

また、同トピックの記事として処理され、2 番目、3 番目に位置してしまったら表示回数すら減るかもしれません。

米国だけの機能だし、日本の Discover にも適用されるとは限りません。  
したがって現時点で心配する必要はないのですが、Discover トラフィックを重視しているサイトの管理者は認識しておくに越したことはありません。

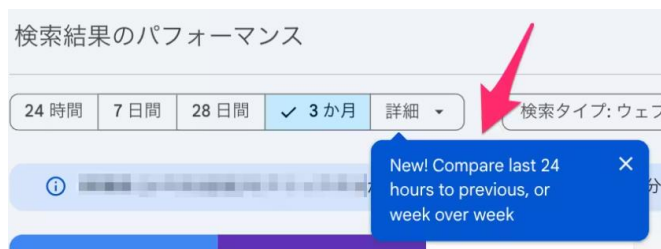
## Search Consoleパフォーマンスレポートで24時間ビューの比較が可能に

Search Console のパフォーマンスレポートで、24 時間ビューの比較ができるようになった。

Search Console のパフォーマンスレポートで、[24 時間ビュー](#)の比較ができるようになりました。

### 前の期間・前週の 24 時間のデータを比較

Search Console にログインすると、24 時間ビューを比較できるようになったことを伝えるメッセージが(英語で)出ているかもしれません。



パフォーマンスレポートで比較メニューを開くと次の 2 つの選択肢を選べるようになっています。

- 過去 24 時間と前の期間を比較
- 過去 24 時間と前週を比較

「過去 24 時間と前の期間を比較」は、今から 24 時間前までとその前の 24 時間前まで、つまり 25 ~ 48 時間前までの期間の比較になります。



## Search Console パフォーマンスレポートで24時間ビューの比較が可能に

Search Console のパフォーマンスレポートで、24 時間ビューの比較ができるようになった。

なお、日本語 UI だとどちらも「過去 24 時間」で、何が違うのか戸惑います(要フィードバック案件)。



英語 UI だと、「Last」と「Previous」でちゃんと区別できます。



「過去 24 時間と前週を比較」は、そのままの意味で、前の週の同じ時間帯の 24 時間との比較です。

たとえば、今が木曜日の 7:00 AM だったとすると、前週の木曜日の 7:00 AM 以前の 24 時間のデータと比較できます。

※すずき注:実際にはリアルタイムでの 24 時間前データではないが、わかりやすくするために、現時点からの 24 時間前データとして例えた

## Search Consoleパフォーマンスレポートで24時間ビューの比較が可能に

Search Console のパフォーマンスレポートで、24 時間ビューの比較ができるようになった。

24 時間ビューのデータを比較したグラフです。



24 時間ビューは次のレポートで利用できます。

- 検索結果
- Discover
- Google ニュース

コンテンツを常時更新していたり、即時性の高いニュースを配信していたりするサイトにとっては、24 時間ビューの比較は特に役立つそうです。

[H/T] [Google Search Central](#)



## ChatGPTに決済機能が統合される、ユーザーはChatGPTを離れることなく購入完了

OpenAIは、決済システムを ChatGPT に直接統合し、ユーザーがプラットフォームを離れることなく購入を完了できるようにする予定だ。

[Financial Times](#) が報じるところによると、OpenAIは、決済システムを ChatGPT に直接統合し、ユーザーがプラットフォームを離れることなく購入を完了できるようにする予定です。

### ChatGPT のなかで購入完了

ChatGPT は[ショッピング検索](#)を提供しています。

ただし、ユーザーの要望に沿った商品を ChatGPT は提案するだけです。

気に入った商品が見つかった場合は、その商品を販売しているサイトに移動して購入します。

つまり、ChatGPT から離れます。

しかし、ChatGPT に決済機能を統合することで、ユーザーは ChatGPT から移動することなくシームレスに購入を完了できるのです。

### ChatGPT と統合された決済機能

ChatGPT と統合された決済機能で予定される特徴は次のとおりです。

- **中核となる機能:**

最大の目的は、決済システムを ChatGPT に直接統合し、ユーザーが外部の EC サイトに移動することなく、プラットフォーム（ChatGPT）内で取引を完全に完了できるようにすることです。

- **収益モデル:**

この決済統合システムを通じて注文を受け、処理する EC 事業者は、OpenAI に手数料を支払います。これにより、新たな収益源を決済機能から OpenAI は生み出します。

- **パートナーシップと技術:**

OpenAI は、この機能を決済実装するために決済グループの Shopify と提携しています。Shopifyは、他のオンラインサービスに組み込むことができる決済技術をすでに提供しています。たとえば、TikTok などのプラットフォームでショッピング機能をサポートしています。

- **開発状況:**

ChatGPT に統合された決済機能は現在開発中です。最終的な詳細は変更される可能性があります。しかし、OpenAI と Shopify は、システムの初期バージョンをブランドメーカーに提示し、金銭的条件について協議しています。



## ChatGPTに決済機能が統合される、ユーザーはChatGPTを離れることなく購入完了

OpenAIは、決済システムを ChatGPT に直接統合し、ユーザーがプラットフォームを離れることなく購入を完了できるようにする予定だ。

わざわざ別のサイトに移動することなくそのまま購入できるのは、ユーザー体験の向上に繋がりそうです。  
ショッピング行動にも変化を与えるかもしれません。

また、OpenAI としては新たな収益源を手にできます。

そして、Shopify とまず提携するという点にも注目です。

Shopify は、ChatGPT のショッピング検索に商品情報を提供する[サードパーティプロバイダ](#)です。

ChatGPT 内で直接購入できる商品は、おそらく Shopify をプラットフォームとしている EC サイトで販売している商品になるのでしょう。

「Shopify 強し」でしょうか？

## AI ModeからGemini 2.5 Proを利用可能に。Deep Searchもサポート

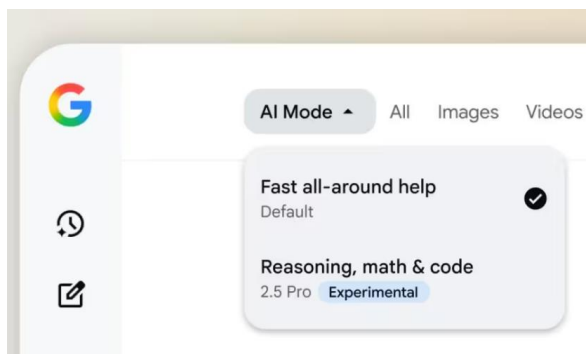
AI Mode から Gemini 2.5 Pro を使えるようになる。また、Deep Research を AI Mode がサポートする。

AI Mode から Gemini 2.5 Pro を使えるようになります。  
また、Deep Search を AI Mode がサポートします。

### AI Mode を Gemini に切り替え

AI Mode にいながら、LLM アプリの Gemini Pro 2.5 を使えます。

AI Mode から Gemini 2.5 への切り替えはドロップダウンメニューから選択するだけです。



上段の「Fast all-around help」は通常の AI Mode です。

下段の「Reasoning, math & code」が Gemini 2.5 Pro です。

Gemini 2.5 Proは、Gemini アプリを立ち上げれば利用できますが、AI Mode にいながら使えるというのが利点です。

わざわざ別のアプリ(ページ)に移動する必要がなくなります。

調べものをするときは AI Mode を使い、タスクを処理させたいときは Gemini を使うといったふうに、用途に応じて一か所で切り替えができるのです。

Google 検索にユーザーをとどませることに繋がりそうです。

個人的にも、両方の機能をシームレスに使えるので便利そうだと感じます(まだロールアウト中なのか試せていない)。

なお、AI Mode での Gemini 2.5 Pro への切り替えは、[Google AI Pro](#)と[Google AI Ultra](#)のユーザーに提供されます。

## AI ModeからGemini 2.5 Proを利用可能に。Deep Searchもサポート

AI Mode から Gemini 2.5 Pro を使えるようになる。また、Deep Research を AI Mode がサポートする。

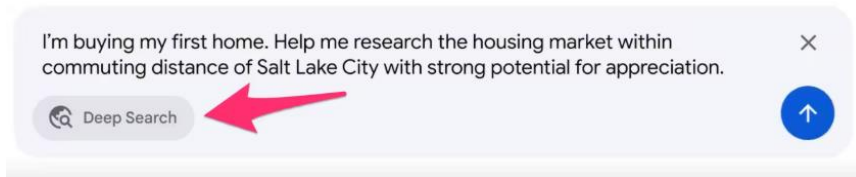
### AI Mode で Deep Search

AI Mode が Deep Search をサポートします。

「Deep Search(ディープサーチ)」とは、表面的な情報収集にとどまらず、ある主題について極めて詳細かつ包括的に行う調査のことです。何百もの検索を実行し、散在する情報を横断的に推論し、引用元が明記された包括的なレポートを作成します。

Deep Search は、Gemini アプリに搭載されている [Deep Research](#)(ディープリサーチ)に相当する機能です。  
※すずき補足:AI Mode は「Deep Search」で、Gemini は「Deep Research」。検索の機能なので、「Search」にしたのでしょう

専用のボタンから Deep Search を AI Mode で実行できます。



Deep Search を利用できるのは、Google AI Pro または Google AI Ultra を利用し、[Search Labs](#) でオプトインしているユーザーです。

利用者が世界でもトップの Google 検索から Gemini を利用できるということになると、AI 競争における Google の優位性がますます強まるように感じます。

[Source] [New AI features in Google Search: Call a business or do research](#)